

第24回晩成学舎「アムール川流域論と、エゾシカ概論」

今回は、土曜日と日曜日を分けて、それぞれ講師をお願いするという、少し欲張った講座になりました。

土曜日は、世界一豊かだとされているオホーツク海のこと、日曜日は、道東に顕著なエゾシカ対策の概論です。超一流の講師による、香り豊かなセミナーをご堪能ください。

■日時 2014年4月19日(土)14:00～、20日(日)8:30～ ■会場 大樹町晩成温泉「原生花園」研修室

土曜 講座 「オホーツク海・親潮の巨大魚附林としてのアムール川流域 1&2」

世界でもっとも生産性の高いオホーツク海や親潮という我が国の近海は、その生産性の高さの一要因をアムール川が輸送する溶存鉄に依っている。溶存鉄は、アムール川流域の湿原にその主要な起源をもっている。この大陸と外洋を結ぶ物質・生命連環は、アムール川流域の各国で進行しつつある大規模な土地利用変化や全球規模の気候・環境変化によって大きく変容しつつある。この巨大魚附林(うおつきりん)とも呼ぶべき エコシステムの最下流に位置し、水産資源という形でシステムから利益を享受する日本は、いかにしてこのシステムの保全と持続可能性に寄与できるのか、その方策を検討する。

■講師：白岩 孝行 氏 (北海道大学 低温科学研究所 環オホーツク観測研究センター 准教授)

専門は自然地理学・雪氷学。2005年～2009年にかけて、総合地球環境学研究所(京都)が実施したアムール・オホーツクプロジェクトのリーダーを務め、オホーツク海・親潮海域の一次生産に果たすアムール川流域起源の溶存鉄の役割を解明した。2009年には日本、ロシア、中国、モンゴルの研究者からなる学術ネットワーク「アムール・オホーツクコンソーシアム」の設立に関わり、オホーツク海と周辺陸域の持続可能な利用と環境保全に関する学術的議論ならびに政策提言に向けた議論を進めている。

■必読図書：白岩孝行著『魚附林の地球環境学』昭和堂, 2011

■参考文献：白岩孝行「アムール・オホーツクコンソーシアムの設立とその意義」桜井泰憲・大島慶一郎・大泰司紀之編著『オホーツクの生態系とその保全』北海道大学出版会, 2013

白岩孝行「オホーツク海の命運を握るアムール川」田畑伸一郎・江淵直人編著『環オホーツク海地域の環境と経済』北海道大学出版会, 2012

日曜 講座 「エゾシカ学概論～ヒトとシカの関わりの歴史」

1980年代以降、道東地域を中心にエゾシカの生息数が爆発的に増加し、農林業被害や交通事故が増加、自然植生が劣化するなど大きな社会問題となっています。しかし、エゾシカは北海道の生態系を構成する一員であり、長い時間にわたる人間との関わりの歴史があります。本講座では、エゾシカとはどのような動物なのか、

その生態について紹介するとともに、被害の実態、保護管理の現状についてお話しします。

■講師：宇野 裕之 氏（北海道立総合研究機構・環境科学研究センター 研究主幹。農学博士）

東京都出身。北海道大学大学院農学研究科修士課程修了。北海道環境科学研究センター道東地区野生生物室長、北海道環境科学研究センター自然環境保全科長を経て、2010年から現職。

美幌博物館学芸員を経て現在に至るまで、主に北海道東部地域のエゾシカの生態調査・研究に従事している。また、地域の農林業被害対策、植生保全や有効活用など、保護管理全般に現場の研究者として関わっている。「エゾシカ保護管理検討会委員」「日本哺乳類学会理事」などを務める。

所属学会：日本哺乳類学会・日本生態学会・個体群生態学会

■必読図書 大泰司紀之・平田剛士著『エゾシカは森の幸』北海道新聞社

■参考文献 梶 光一・宮木雅美・宇野裕之編著『エゾシカの保全と管理』北海道大学出版会

■日時 2014年4月19(土)14:00～20日(日)10:00 ■会場 晩成温泉 原生花園(大樹町)

19日(土) 14:00～ 講座 「オホーツク海・親潮の巨大魚附林としてのアムール川流域 1」

(内容) 基礎的な溶存鉄輸送のメカニズム

16:00～ 講座 「オホーツク海・親潮の巨大魚附林としてのアムール川流域 2」

(内容) 持続可能な利用と保全に向けた検討項目

18:00～ 夕食・懇親会 (晩成温泉和室にて行います)

ビールは注文できます。その他の飲み物は、各自でご持参お願いします。

20日(日) 8:30～ 講座 「エゾシカ学概論～ヒトとシカの関わりの歴史」

10:00頃まで

■費用 (カッコ内)は会員様価格です。

全講座：2,550円(1,950円) / 土曜講座：1,700円(1,300円) 日曜講座：850円(650円)

懇親会：2,050円(1,650円) 宿泊：一律3,300円 朝食付き

(宿泊希望の方はお早めに。お申込みが遅いと相部屋になります)

申込み

湿原研究所 FAX：01558-7-7550 または e-mail：info@wetlands.jp

4月16日(水)までにお申し込みください